

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市静和ふれあいの郷センター
	所在地	栃木市岩舟町静戸498番地7
	施設内容	農産物販売施設、都市農村交流施設
指定管理者	名称	静和地区ふれあいの郷づくり委員会
	所在地	栃木市岩舟町静戸498番地7
	主な業務内容	・農産物直売所の運営 ・施設及び施設用地の管理運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	アンケート実施数		1件	1件
	アンケート配布数		50件	50件
	利用者意見反映数		3件	1件
	利用案内掲示数		3ヶ所	3ヶ所

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅲ	0.6	15	Ⅲ	0.6	15

指定管理者コメント	・利用者との会話を大切にして、ご意見には丁寧に対応して利用者に満足いただける直売所運営に努めました。毎月1回の定例会を開催して、利用者からの要望や意見を確認して職員間で共通理解をもって対応しました。
-----------	---

施設所管課コメント	施設の運営にあたって、設置目的に基づき適切に業務が遂行されていました。平成28年度は半年間休店し、7月にリニューアルオープンをしましたが、今年度に入ってもまだまだ以前のような来客とはいかず苦戦していましたが、また来ていただけるようになったお客様に親切に対応し、高評価をいただいております。
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	年間利用者数		14,000人		10,564人		
	イベント開催数		2回		4回		
	イベントチラシ発行回数		1回		2回		
	地域との協働事業数		2回		2回		
	協働事業等参加者数		延べ14人		延べ38人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	V	0.2	4	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>・イベントで参加した来場者は多数ありましたが、積極的な直売所の広報活動が不十分のため、通常時の買物利用者数が計画利用者数に達することができませんでした。</p>						
施設所管課コメント	<p>来客につながるようにとイベントに力を入れていました。 自主イベントだけでなく、地域で開催する「いわふね軽トラ市」等にも積極的に参加し、広報活動に努めました。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	スタッフ施設清掃		毎日		毎日		
	節電ポスター掲示		2カ所		2カ所		
	施設、設備点検回数		12回		毎日		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	II	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・収支手続きについては、経理担当者を定めて適切に行いました。 ・浄化槽の保守点検は業者委託にして、正常な管理を行いました。 ・日常の設備等の点検は日常点検チェックで毎日実施して節電等経費軽減に努めました。 						
施設所管課コメント	施設の清掃管理や公園の除草作業等も自分たちで実施し、経費削減に努めています。						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			2人	3人	
	研修会参加数			2回	1回	
	研修会参加者数			延べ10人	延べ5人	
	景観整備回数			10回	10回	
	景観整備参加者数			各5人	各5人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に支障がないように、統括責任者1人、直売所販売員2人体制の人員配置をしています。 ・栃木市直売所連絡協議会に参加し、市や県で開催される各種研修会等にも参加して職員の資質向上に努めました。 ・景観整備は公園の除草作業のほか、コスモスの花植え、さつまいもの栽培等を実施し、イベントにも活用しました。 					
施設所管課コメント	<p>施設の運営に支障が出ないように、人員配置がされています。しかし、現状の売上額では販売員2人体制では経費が掛かりすぎてしまうのがやや難点です。</p> <p>市や県の研修会にも参加し、職員の質の向上に努めています。</p> <p>景観整備に併せて、コスモスやさつまいも等の栽培を行い、イベントにも対応させています。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		12回/年		1回/日		
	事故発生件数		0件		0件		
	避難訓練実施回数		1回		1回		
	避難訓練参加者数		10人		10人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1	20	I	1	20
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の点検は、日常点検チェック表で毎日実施しました。 緊急時に対応できるよう緊急時職員連絡網を整備して職員に周知しました。 						
施設所管課コメント	<p>施設の安全点検を毎日（営業日）実施されています。 少ない人数ではあるが、お客様も入れて避難訓練がしっかりされていました。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	15	15
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	4	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	12
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	12	12
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	66	75
総合評価		C	B

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	30年3月	29年3月	28年1月
資産総額	0	671,630	1,200,000
売上高	1,934,999	1,568,105	2,657,506
経常利益	△ 2,805,024	△2,597,730	△42,153
当期利益	714,593	943,683	236,253
経常収支比率	115.1%	122.7%	108.8%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	30年3月	29年3月	28年1月
経常費用	4,744,207	4,165,835	2,699,659
経常収益	5,458,800	5,109,518	2,935,912
経常収支比率	115.1%	122.7%	108.8%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

- ・人件費は、すぎのこ会の地域貢献活動費として支出されています。